学習ポートフォリオ_最終

| 所属プロジェクト | ロボット型ユーザインタラクションの実用化 - 「未 来大発の店員ロボット」をハードウエアから開発す る - |
|---|--|
| 担当教員名 | 三上貞芳,鈴木昭二,高橋信行 |
| 氏名 | 伊藤壱 |
| クラス | С |
| 学籍番号 | 1018194 |
| プロジェクトの目標および成果物とそれにより得られた結果や効果について書いてください. (自由記述, 200 文字以上) | 店員さんの理想の接客をロボットで再現するという目標のもと、頭が二軸モータで腕が一軸モータで動き、測距センサと静電容量センサ、発声機能を持たせた高さ約23.3センチ、横約17.5センチ、奥行き約12.5センチのロボットを作成した。 作成したロボットを実際に店頭で稼働させていないので十分に客観的な評価は行えなかったが、挨拶動作などによってお店の雰囲気が和ましくなる効果が期待された。また、目標を十分に達成することはできなかったと考えており、今後の改良が望まれる. |
| その中であなたが貢献 したことを具体的に書 いてください(自由記 述 200 文字以上) | ロボットが動くためにはモータが必要であり、外部入力を受け取るためにはセンサーが必要である。合成音声を発話させるには合成音声集積回路とスピーカアンプが必要であり、それらを制御するためのマイクロコンピュータが必要になる。私はそれらを相互作用させるための電子回路を実現し、電子回路を適切に働かせるための制御プログラムの実装を行った。 ロボットをどう動かしたら可愛らしく見えるかということを考え、ロボットの振り付けを生み出し、プログラム制御によって再現させた。 |
| グループのなかでの自 分の役割について | 責任と権限が明らかであった |
| 上の質問で「その他」 を選んだ人は具体的に 記述してください. | |

| 自分の所属するプロジェクトの難易度につい て | 比較的難しかった |
|---|--|
| 上の質問で「その他」 を選んだ人は具体的に 記述してください. | |
| 前期の活動終了時の学 習目標を選択してくだ さい. (複数回答可) | 報告書作成方法:作業を楽しく行う方法 |
| 上の質問で「その他」 を選んだ人は具体的に 記述してください. | |
| 上記の目標達成のために、どのようなことを 行いましたか. (自由 記述 200 文字以上) | 報告書作成に関しては、私が Tex で報告書の体裁を整え、他のグループメンバーが躓くことがないようにした、また、私が作成した体裁を他のグループにも配布し積極的に参考にしてもらった。 Tex のプログラムすべてにコメントアウトを付け、どの命令がどのような意味を持っているのかを明確にすることで、後から整備しやすいようにした。 作業を楽しく行う方法に関しては、工房利用を増やすことで積極的に手を動かす機会を設けることで、作業の進捗を感じやすくする効果を狙った。 |
| | プロジェクトの進め方:複数のメンバーで行う共同 作業:報告書作成方法:課題の解決方法 |
| 上の質問で「その他」 を選んだ人は具体的に 記述してください | |
| その結果、プロジェク ト学習で <u>習得できなか</u> <u>ったこと</u> は何ですか. (複数回答可) | 学生同士でのコミュニケーション; 教員とのコミュニケーション |

| 上の質問で「その他」 を選んだ人は具体的に 記述してください | |
|--|---|
| 習得できなかった理由 は何ですか. (自由記 述 200 文字以上) | オンラインによるコミュニケーションが多く、プロジェクトリーダーの私が一方的に話す機会が多かったため、また、教員とのコミュニケーションは少なかったわけではないが、プロジェクト参加前に想定していたほどのコミュニケーションは得られなかった。原因としては物理的な距離が空いてしまい実際に会えない状況が生まれていたことと、学生の考えていることや不安に思っていること、進捗の状況などを十分に伝えられていなかったために、お互いに話題が見つからないという状況があったのではと考えられる。 |
| 卒業研究や今後の成長 のためにあなたにとっ て特に必要なことは何 ですか. (複数回答 可) | 研究の進め方; 論文執筆方法; 教員とのコミュニケ ーション; 課題の設定方法 |
| 上の質問で「その他」 を選んだ人は具体的に 記述してください. | |
| 上記のことが必要な理 由は何ですか?(自由 記述. 200 字以上) | 技術や知識については自分から勉強していける自信はあるが、研究の進め方はしっかりと知っておかないと、今回のプロジェクトのように迷う場面が多くなると感じたから. 論文執筆方法が必要なのは、プロジェクトで Tex による報告書作成経験を経て、文書の執筆は体裁を整えるだけで見え方が全然異なることに気付いたから. 教員とのコミュニケーションについては、教員の豊かな知識や経験知を借りないと非効率な場面が多いことをプロジェクトで実感したから. 課題の設定方法については、今回のプロジェクトで一番うまくいかなかった部分である一方で、その重要さを別のプロジェクトの発表を見たときに感じたから. 課題の設定がしっかりできていれ |

| | ば、技術的不満足や物理的制約に関わらず、目標を |
|---------------|------------------------------------|
| | 持ってあらゆる手段を検討できると感じた. |
| プロジェクト学習と今 | |
| までに受けた講義・演 | 2つの講義・演習と関連があった |
| 習との関連の有無につ | |
| いて | |
| 上の質問で「その他」 | |
| を選んだ人は具体的に | |
| 記述してください | |
| グループ内での作業分 | |
| 量の割り当てについ | ほぼ公平に割り当てられていた |
| て. | |
| 上の質問で「その他」 | |
| を選んだ人は具体的に | |
| 記述してください | |
| 通常の講義・演習と比 | |
| 較して、プロジェクト | どちらかといえばプロジェクト学習の意義があった |
| 学習の意義の有無につ | こうのがこいたほグログエグド子目の总裁がのうに |
| いて(Q27) | |
| 上の質問で「その他」 | |
| を選んだ人は具体的に | |
| 記述してください | |
| Q27 の意義について,答 | プロジェクト学習で習得したかったが、習得できな |
| えを選んだ理由となる | かった方法、最終報告書・ポスター作成に関する教 |
| 項目を選択してくださ | かった方法、取べ取ら者・ハヘダード及に関する教 員の指導の有無 |
| い。(複数回答可) | スンロ4人」は |
| 上の質問で「その他」 | |
| を選んだ人は具体的に | |
| 記述してください | |
| 自分の所属するプロジ | |
| ェクト(グループ)の活 | やや不満 |
| 動に対する満足度につ | (2 (2 x 1 x V)型 |
| いて. (Q31) | |

| Ir | |
|---|--|
| 上の質問で「その他」 を選んだ人は具体的に 記述してください | |
| Q31の満足度の理由として考えられる項目を選択してください。(複数回答可) | その他(下の記入欄に具体的に記述してください) |
| 上の質問で「その他」 を選んだ人は具体的に 記述してください | コロナの影響で、工房利用が制限され電子パーツの発送に遅延があった。また、ロボットという私の経験が浅い分野にも関わらず、インターネットのみで学ぶことになった。 |
| グループメンバーと協 働することにより、課 題を見出し、解決でき る | できる |
| 活動を成功させるため に必要な努力をする自 信がある | よくできる |
| 証拠に基づいて意見を 述べることができる | よくできる |
| 自分で行った結果に対 して責任を持つことが できる | よくできる |
| 収集した情報を体系的 に整理し、活用するこ とができる | よくできる |
| さまざまなコミュニケーションの場面において、他者の話を注意深く、忍耐強く、誠実に聞き、正しく理解できる | まあまあできる |
| 活動の中で壁に直面し たり、競争のプレッシ | できる |

| ャーがあっても、目標 | |
|---------------|-------------|
| の達成に向けてやり抜 | |
| くことができる | |
| 読み手や目的に合わせ | |
| て、正確にわかりやす | でも フ |
| い文章を書くことがで | できる |
| きる | |
| 自分とは異なる意見が | |
| 提示された際、冷静に | |
| 分析し、自分の考え方 | よくできる |
| を再考したり修正した | |
| りできる | |
| グループのメンバーの | |
| 状況を理解し、支援す | まあまあできる |
| る | |
| どのような状況におい | |
| ても意欲的に活動に取 | できる |
| り組むことができる | |
| さまざまな情報源から | |
| 必要な情報を効率的に | よくできる |
| 探すことができる | |
| プライバシーや文化の | |
| 差異に配慮して、責任 | |
| をもって注意深くイン | できる |
| ターネット環境を利用 | |
| できる | |
| 守秘業務、プライバシ | |
| 一、知的所有権に配慮 | |
| しながら、身近な問題 | できる |
| を解決するために、正 | C C 8 |
| 確かつ創造的に ICT を | |
| 利用できる | |
| | |

| 他人に関心を寄せ、他 人を尊重することがで きる | できる |
|---|------------|
| グループが目指す成果 に到達するために優先 順位をつけ、計画を立 て、運営できる | できる |
| 正しい文法・語彙を使 って話したり、書いた りできる | できる |
| 社会で一般に容認・推 進されている行動規範 にしたがって行動でき る | まあまあできる |
| 他者を信頼し、共感す ることができる | できる |
| 活動を粘り強く行うた めに必要な集中力があ る | よくできる |
| 情報を批判的かつ入念 に検討し、評価できる | よくできる |
| あなたは前期のプロジェクト学習に意欲的に 取り組みましたか? | 意欲的だった |
| 前期の活動を行ったことにより、あなたはプロジェクト学習の内容に興味を持てるようになりましたか? | まあまあ興味を持てた |
| 前期のプロジェクト学 習の活動は、あなたの 今後に役立つと思いま すか? | どちらともいえない |

| 今後、同じようプロジェクトを行うことになったら、もっとうまく やれる自信がありますか? | まあまあ自信がある |
|--|-----------|
| 前期のプロジェクト学 習の活動に満足してい ますか? | どちらともいえない |